

令和4年 3月	豊川放水路 愛護モニター報告	モニター区間	放水路:左右岸 0.0km~6.6km 管轄出張所:豊川出張所
実施日	令和 4年 3月 25日	実施区間	放水路:塚田橋付近

今月は 行明橋から塚田橋を徒歩で移動します。

先月 見つからなかった つくし が今月は

いっぱいです。ようやく春が来たようです。

子供のころ 放水路の土手で 両手いっぱい

のつくしを母親に持って帰ったのは 思い違いで

はなさそうです。



放水路の左岸を行明橋から 下流に向かって

歩きだします。放水路堤防の下には 民家が

あります。行明町です。ここは 左岸でも豊川

市になるんですね。今回 行明橋についてインター

ネット検索をしていたら、2017年12月8日の東日



新聞の記事を見つけました。この橋は できてから50年がたっており 豊川市は架け替えを決めた と

いうものです。その 記事にも 完成は未定とありますが 架け替えられて 国道151号線と信号で

繋がると とても便利に なるので 個人的にも 切望します。しかし、できてから50年ということは

放水路ができた 最初から あるということになります。この行明橋は 歩行者通路が 片側にしか

ありません。尚且つ 自動車がすれ違うのには狭いので 対抗車が こないのを 確認しながら 渡って

いる車が ありました。50年前には この幅でよかったのでしょうか。50年後に こんなにいっぱい自動車が

行き来するとは 想像できなかったでしょう。

今回 塚田橋までを 歩いてみると 松原用水行明

分水工の設備が ありました。幹線水路の水を分水

する設備です。このあたりは豊川放水路が松原用水

と交わる場所で、放水路の下をサイフォンに

よって 松原幹線水路が通っているそうです。



サイフォンの原理を調べると“隙間のない管を利用して 液体をある地点から目的地まで

途中出発地点より高い地点を通過して導く装置である”と あります。先人の苦勞がしのべられます。